

徳島大学

2025



令和7年度

学生募集要項

学校推薦型選抜Ⅰ

(大学入学共通テストを課さない)

総合科学部

医学部 (医科栄養学科)

理工学部

生物資源産業学部

- 「学生募集要項」は、PDF版のみとなります。
- 本学は、全選抜においてインターネット出願となっています。

本学ホームページ受験生サイト (<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>)



令和7年度入学者選抜実施日程

【大学入学共通テストを課す選抜】

区分	実施学部等	出願受付期間	第1段階選抜 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程 全学部	令和7年1月27日(月) ～2月5日(水)	令和7年2月12日(水) 医学部医学科、 歯学部歯学科、薬学部	令和7年2月25日(火) 医学部医学科・医科栄養学科、 歯学部歯学科、薬学部、 生物資源産業学部は 2月25日(火)・26日(水)	令和7年3月7日(金) 14時	令和7年3月8日(土) ～3月15日(土)
	後期日程 ※医学部医学科・医科栄養学科・ 保健学科検査技術科学専攻、理工 学部(夜間主)を除く。		令和7年2月28日(金) 歯学部歯学科、薬学部	令和7年3月12日(水)	令和7年3月21日(金) 14時	令和7年3月22日(土) ～3月27日(木)

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考	第2次選考	合格者発表日	入学手続期間
総合型選抜	医学部医学科	令和6年10月18日(金) ～10月25日(金)	令和6年11月15日(金)	令和6年11月23日(土) ※選考結果通知:令和6年12月20日(金)	令和7年2月12日(水) 16時	令和7年2月13日(木) ～2月19日(水)
学校推薦型 選抜Ⅱ	全学部 ※理工学部(夜間主)を除く。	令和7年1月21日(火) ～1月24日(金)	令和7年2月6日(木) ※医学部保健学科、生物資源産業学部を除く。	令和7年2月9日(日) ※生物資源産業学部を除く。		

【大学入学共通テストを課さない選抜】

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
学校推薦型 選抜Ⅰ	総合科学部	令和6年11月5日(火) ～11月11日(月)		令和6年11月23日(土)	令和6年12月20日(金) 14時	令和7年2月13日(木) ～2月19日(水)
	医学部医科栄養学科			令和6年11月21日(木)・ 22日(金)		
帰国生徒選抜	理工学部(昼間)、理工学部 (夜間主)、生物資源産業学部		令和6年11月15日(金) 理工学部(昼間)(次世代光フロン ティア入試)、生物資源産業学部	令和6年11月22日(金)		
	総合科学部			令和6年11月23日(土)		
社会人選抜	総合科学部 医学部保健学科看護学専攻、 理工学部(夜間主)			令和6年11月23日(土) 令和6年11月22日(金)		

区分	実施学部等	出願受付期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
私費外国人 留学生選抜	総合科学部、生物資源産業学部	令和6年12月3日(火) ～12月20日(金)	令和7年2月9日(日)	令和7年3月7日(金) 14時	令和7年3月8日(土) ～3月15日(土)
	医学部医学科・保健学科、薬学部		令和7年2月25日(火)		
	歯学部歯学科		令和7年2月25日(火)・26日(水)		
	理工学部(昼間)		令和7年2月14日(金)		

理念・目標

〈理念〉

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。

〈目標〉

- 【教 育】** 1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。
2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。
- 【研 究】** 1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。
2. 人類の問題を解決する研究を行う。
3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。
- 【社会貢献】** 1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。
2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1 障がい等のある入学志願者との事前相談	10
2 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除	10
3 検定料の返還	11
4 入試過去問題の使用	11
5 募集人員及び推薦人員	12
6 推薦要件及び選抜方法等	13
7 出願手続	23
・インターネット出願手順マニュアル	27
8 本学受験票の印刷	44
9 合格者の発表	44
10 不正行為	44
11 入学手続	45
12 入学前学習	46
13 入学試験の成績の開示	46
14 試験問題及び出題意図、解答例等の公表	47
15 奨学金、入学金・授業料免除、学生寮等	47
16 安全保障輸出管理	47

個人情報取扱

- (1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務を行う目的をもって、本学が管理します。
また、同情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金、就職支援等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析、入学者選抜方法の調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）及び学生支援関係業務（授業料免除、奨学金等）のために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。

教科・科目名等の略称について

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査の出題教科・科目等名及び出願資格の履修教科・科目等名について、略称を用いる場合は、次のように表記します。

教科名	科 目 名
国語→国	国語→国
地理歴史→地歴	「地理総合，地理探究」→「地理」「歴史総合，日本史探究」→「日」「歴史総合，世界史探究」→「世」 「公共，倫理」→「倫」「公共，政治・経済」→「政経」 「地理総合 / 歴史総合 / 公共」→「地理 / 歴史 / 公共」
公民→公民	「旧世界史A」→「旧世A」「旧世界史B」→「旧世B」「旧日本史A」→「旧日A」「旧日本史B」→「旧日B」 「旧地理A」→「旧地理A」「旧地理B」→「旧地理B」 「旧現代社会」→「旧現社」「旧倫理」→「旧倫」「旧政治・経済」→「旧政経」「旧倫理，旧政治・経済」→「旧倫・政経」
数学→数	「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ・数A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」→「数Ⅱ・数B・数C」 「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」 「数学A」→「数A」「数学B」→「数B」「数学C」→「数C」 「旧数学Ⅰ」→「旧数Ⅰ」「旧数学Ⅰ・旧数学A」→「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数学Ⅱ」→「旧数Ⅱ」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」→「旧数Ⅱ・旧数B」 「旧簿記・会計」→「旧簿」「旧情報関係基礎」→「旧情基」
理科→理科	「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」→「理基礎」 「物理基礎」→「物基」「化学基礎」→「化基」「生物基礎」→「生基」「地学基礎」→「地学基礎」 「物理」→「物」「化学」→「化」「生物」→「生」「地学」→「地学」
外国語→外	「英語」→「英」「ドイツ語」→「独」「フランス語」→「仏」「中国語」→「中」「韓国語」→「韓」
情報→情	情報Ⅰ→情Ⅰ 旧情報→旧情
総合問題→総合	総合問題→総合
高等学校学習指導要領に基づく教育課程について、略称を用いる場合は、次のように表記します。	
平成30年文部科学省告示第68号の高等学校学習指導要領（以下「新指導要領」という。）に基づく教育課程	新教育課程
平成21年文部科学省告示第34号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程	旧教育課程

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

全学の受入方針

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）*のもと、卓越した学術及び文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ① 高等学校等時に、真摯な態度で学習や多様な活動に意欲をもって取り組み、大学入学後も他の学生・教職員とともに切磋琢磨しながら、学び続ける意志をもつ人
〔求める要素：関心・意欲・態度、協働性〕
- ② 多様な情報に関心をもち続け、自らの自由な発想でその真偽と活用を主体的に判断しようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、思考力・判断力、主体性、応用力〕
- ③ 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき文科系・理科系に渡る知識・教養のもと、思考を深めて相手に表現できる人
〔求める要素：知識・教養、思考力・判断力、表現力〕
- ④ 自律して社会や地域の諸問題に意欲をもって立ち向かい、その課題解決策を深く掘り下げて伝えようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、探究力、表現力〕
- ⑤ 他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展のために貢献しようとする人
〔求める要素：協働性、幅広い視野、創造性〕

※学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページの下記 URL でご覧いただけます。

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/information/education_announce/

※必ずお読みください!!

各学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）について

本学では、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を具体的に示しています。すべての学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の全項目によって成り立っています。入学を希望される方は、各選抜区分（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）における実施教科・科目等と同時に、全項目をしっかりと理解しておいてください。

- 各学部、学科（専攻）でどのような人物を育成するか。
- 求める人物像〔高等学校等で修得すべき具体的な内容を含む。〕
入学者に求める能力や資質（学力の3要素*を含めたもの）は何か。
- 入学者選抜の基本方針
各々の入学者選抜（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）でどのような力を評価するか。
- 入学者選抜方法における選抜内容^{（注1）}
各々の入学者選抜でどのような評価方法を活用するか、またその内容は何か。
- 入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕^{（注2）}
各々の入学者選抜方法でどのような力に比重を置くか。

※学力の3要素－1 知識・技能の確実な習得、2 知識・技能を基にした思考力、判断力、表現力、3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

（注1）大学入学共通テスト、個別学力検査等で課す教科・科目等の詳細は、該当ページを必ず確認してください。「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」では、紙幅の都合上、大学入学共通テストと個別学力検査（教科に関するもの）の具体的な教科・科目を省略しています。

（注2）○印を付している項目（求める人物像）は、各入学者選抜方法で重点的に評価することを意味します。○印を付していない項目（求める人物像）を全く評価しないということではありません。

また、各々の入学者選抜方法に複数の該当選抜区分を記載しているものがありますが、これは○印の具体的な評価内容がすべて一律であることを意味するものではありません。

総合科学部

■社会総合科学科

人文・人間・社会・地域・情報等の諸科学における専門知識や専門技能、技術を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的としています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

グローバル化、少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの社会的課題や地域課題に関心をもち、総合的な視点から問題解決を志向しようとする人。人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報メディアの分野に関心をもつ人。21世紀型社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもつ人

表現力

自分が伝えたいことを的確な表現を用いて相手に示すことのできる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理系も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

英語—グローバル化社会に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

地歴・公民—日本を含む世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎知識
数学、理科—理系分野の基礎的内容を理解し、論理的に考える力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜活動実績重視型＞

書類審査で高等学校等時代での部活動、校外活動、芸術及びスポーツなどのいずれかの分野ですぐれた実績を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、面接では前述の実績をもとにしたリーダー的存在となりうる資質と本学部の教育分野への強い関心と積極性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜英語能力重視型＞

書類審査で英語のすぐれた能力、異文化理解能力を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、英語及び日本語での面接では英語のスピーチや会話によって英語の運用能力に関わる「関心・意欲・態度」「表現力」を評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：6(7)教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト6(7)教科型（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の採点方式で、広範囲にわたり習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を、面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：4教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト4教科型（国語、外国語、地歴・公民、数学）の採点方式で、いずれかの科目での高く習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。面接では、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分*	選 抜 内 容
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	【一般 (後期)】 社会的な課題に関する基礎的な能力 (関心、理解力、表現力) を判定する。 【推薦Ⅰ】 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力 (論述能力、表現力等) を判定する。
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合がある。
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	本学部に対する志望動機、本学部の教育分野に対する強い関心、専攻したい領域に対する強い意欲について、高等学校の生活等の状況を踏まえて、評価する。
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	活動実績重視型では、志望理由および高等学校等での教科外活動状況 (部活動・生徒会活動・校外活動、大会・競技会・展覧会等での成績等及び資格・免許等) を評価する。英語能力重視型では、志望理由と英語で記入した課題作文を評価する。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

* 該当選抜区分内の「(活動)」は「活動実績重視型」、「(英語)」は「英語能力重視型」、「(6)」は「6(7)教科型」、「(4)」は「4教科型」を示す。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般 (前期)		○	○	○	
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○	○		○	
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	○	○			
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	○	○			
志望理由書	推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	○				○
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○		○		○
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)			(総合判定の参考)		
	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	○				○

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

栄養学・医学に強い関心があり、医科栄養学を生涯にわたり学ぶ目標をもつ人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

探 究 力

自分が関心をもったことを深く掘り下げ、その中から新たな課題を発見できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語—医学・栄養学の専門的な論文を将来読み、理解できるための読解力と表現力、コミュニケーション能力

数 学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考法

理 科—自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探究心

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—将来、良識ある社会人として必要な基本的知識と素養

そ の 他—食生活や医療に対する関心をもち、理論的に科学を思考する能力と姿勢

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。国内のみならず国際的な視野をもつ人物を求めるため、英語能力に重点を置くとともに、自律的な学びを継続させ実践できる人を総合的に選抜します。また、本学科は入学者の多様性を重視するため、英語能力に重点を置く「英語受験方式」に加え、英語と理科（化学基礎・化学）の総合力に重点を置く「総合受験方式」の2つの方式により入学者選抜を行います。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別試験で「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「知識・教養」をあわせて総合的に評価します。学校推薦型選抜Ⅰでは、医科栄養学研究に対して、高い主体性をもって行動できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性と学力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「思考力・判断力」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
基礎学力考査	推薦Ⅰ	「英語」「数学（数Ⅲを除く。）」の基礎学力の確認（記述式）を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する。
集団討論	推薦Ⅰ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
個人面接	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【推薦Ⅰ】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ・一般（前期）】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、詳細に記入して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	探究力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○	○		
基礎学力考査	推薦Ⅰ		○	○			
集団討論	推薦Ⅰ			○	○		○
個人面接	一般（前期）	○			○		○
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○		○	○	○	
調査書	一般（前期）			（総合判定の参考）			
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）			

理工学部

■理工学科

自ら課題を探究し、未知の問題に対して俯瞰的視野から総合的な判断を下すことができる能力を兼ね備え、科学技術のイノベーションに柔軟に対応しながらグローバルに活躍できる理工系人材を養成します。そのため、理工学部理工学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

科学技術の両輪となる理学と工学を融合した理工学の各専門分野に強い関心と学びに対する意欲があり、明確な目標をもっている人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養をもつ人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

主体性・創造性・協働性

多様な経験をもとに、主体的に創造性豊かな発想ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」（受験者が入学試験で利用する科目）における内容の理解と科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、倫理、政治・経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力、さらに本学科の志望領域への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

＜次世代光フロンティア入試＞

光システムコースへの入学希望者を対象に、個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。本選抜においては、発光・受光素子、光材料、光情報、生体光学など次世代光科学に関する研究に強い関心とそれを学ぶために必要な基礎学力をもつとともに、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることへ意欲を有する入学者の受入を目的としています。

＜理工学経験重視型入試（工業に関する学科を対象）＞

個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者を対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力をもつとともに、多様で創造性のある実習経験等が豊富な入学者の受入を目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・創造性重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」と「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。高等学校等段階における多様な経験をもとに柔軟に対応できる力を重視するとともに、各専門分野への強い関心を表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
志望調書	一般（後期）	試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望するコースへの志望理由等に関連したテーマ・内容1題を提示し、志望調書を作成して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合がある（口頭試問の詳細は推薦Ⅰ・推薦Ⅱにおける推薦要件及び選抜方法等の該当ページを参照）。なお、推薦Ⅱにおいては第1次選考の結果により、面接を免除する場合がある。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰ・次世代光フロンティア入試においては「資格・検定等」を併せて評価し、推薦Ⅰ・理工学経験重視型入試においては「意欲的に取り組んだ活動」で工業に関する学科特有の活動実績を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	志望するコースへの志望理由を300～400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書は本人の自筆で記入すること。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	主体性・創造性・協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期） 一般（後期）			○	○	
志望調書	一般（後期）	○				
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ	○	○	○		
	推薦Ⅱ	○	○	○	○	
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
調査書	一般（前期） 一般（後期）			（総合判定の参考）		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）		

生物資源産業学部

■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人

探究力

興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理、生物の知識

数 学—理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英 語—国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—地歴・公民における基礎的内容の理解

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈地方創生型〉

学校推薦型選抜Ⅰでは、地方創生に意欲をもつ入学者の受け入れを目的としており、「地域産業振興枠」と「専門学校・総合学科全国枠、地域枠」があります。いずれの枠も大学入学共通テストを課さず、個別試験のみで選抜します。個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」をあわせて総合的に評価します。

<地域産業振興枠>

自らの住む地域に愛着を持ち、地域の生物資源を利用する産業を発展させる創造的活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、学科（普通科や専門教育を主とする学科等）の指定や地域の限定を行わず広く募集します。

<専門学校・総合学科全国枠、地域枠>

地域の1次産業や6次産業の担い手としての活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、（各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を受けた）専門学校・総合学科を対象とし、「全国枠」および「地域枠」により募集します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）〈主体性・表現力重視型〉

4教科の大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。調査書、活動報告書から「関心・意欲・態度」「協働性」を、学びの設計書から「探究力」「表現力」を評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合問題	一般（後期）	日本語で書かれた文章や図表等により、下記の力を問う記述・論述式の出題を行う。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー、食料、農業等で抱える問題）や生物資源産業への深い関心と、自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題
小論文	推薦Ⅰ	日本語で書かれた文章や図表等により、「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミSSION・ポリシーに基づいて集団面接を行う。
個人面接	推薦Ⅰ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミSSION・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認を行う場合がある。なお、推薦Ⅰにおいては、高校の基礎学力（「化学基礎・化学」）を確認するため、口頭試問を行う。また、推薦Ⅰ・地方創生型（地域産業振興枠）では、「学びの設計書」に関する内容についてプレゼンテーションを行う。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰでは、「資格・検定等」を合わせて評価する。なお、推薦Ⅰ・地方創生型（専門高校・総合学科全国枠、地域枠）においては、「意欲的に取り組んだ活動」で農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科特有の活動実績を評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	大学・社会人までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野の理由を含めて、300字～400字で簡潔に作成して提出する。学びの設計書は必ず受験者自筆で作成する。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミSSION・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期）			○	○	○	
総合問題	一般（後期）		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅰ			○		○	
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	推薦Ⅰ	○		○	○		
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○	○		○		○
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ		○	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ					(総合判定の参考)	
		○					○

1 障がい等のある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、以下のとおり入試課に申請してください。

申請後、入試課から回答文書を送付しますので、出願する際はその写しを出願書類と併せて提出してください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

(1) 期 限

令和6年10月28日（月）まで

(2) 方 法

詳細は、本学ホームページ受験生サイトを確認してください。「徳島大学入学試験における事前相談内容」を出力し、必要事項を記入の上、提出してください。

2 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除

本学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、入学者選抜において、以下のとおり検定料免除の特例措置を講じます。

(1) 免除対象となる入学者選抜

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜

(2) 措置内容

検定料（17,000円 夜間主10,000円）の免除

(3) 免除対象者

- ① 東日本大震災及び令和6年度に災害救助法適用地域において被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ア 主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失の被害を受けた場合
 - イ 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合
- ② 居住地が、福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者

(4) 申請方法等

申請方法、申請書類等は、本学ホームページ受験生サイトを確認してください。

3 検定料の返還

納入された検定料は、原則返還しません。

ただし、次のいずれかに該当する場合は検定料の全額又はその一部を返還します。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合
- ③ 検定料を二重に払い込んだ場合
- ④ 第一段階目の選抜の結果、不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に本学の出願無資格者であることが判明した場合

①～③に該当する場合は全額、④～⑤に該当する場合はその一部（総合科学部、医学部、歯学部、薬学部、理工学部（昼間）、生物資源産業学部は13,000円、理工学部（夜間主）は7,800円）を返還します。

①の該当者については、出願書類を返送する際に併せて通知します。

②～⑤の該当者は、申請方法、申請書類等について本学ホームページ受験生サイトを確認の上、令和7年3月31日（月）までに申請してください。

なお、検定料返還の手続には、返還請求書到着後2か月程度かかる場合があります。

4 入試過去問題の使用

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のURLをご覧ください。



<https://www.nyushikakomon.jp/>

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

5 募集人員及び推薦人員

学 部	学 科 等	募集人員	各高等学校から推薦できる人員	
総合科学部	社会総合科学科	15人(活動実績重視型)	1校当たり2人	
		5人(英語能力重視型)	特に制限を設けない	
医学部	医科栄養学科	12人	1校当たり2人	
理工学部	理工学科(昼間)		15人	
	履修コース	社会基盤デザインコース	(2人)	1校当たり2人
		機械科学コース	(2人)	1校当たり2人
		応用化学システムコース	(2人)	1校当たり2人
		電気電子システムコース	(2人)	1校当たり2人
		知能情報コース	(1人)	1校当たり1人
		光システムコース	(1人)	1校当たり1人
			(5人)(次世代光フロンティア入試)	1校当たり1人
	理工学科(夜間主)			
	履修コース	社会基盤デザインコース	若干人	特に制限を設けない
		機械科学コース	若干人	
応用化学システムコース		若干人		
電気電子システムコース		若干人		
知能情報コース		若干人		
生物資源産業学部	生物資源産業学科	2人(専門高校・総合学科全国枠)	1校当たり2人	
		4人(専門高校・総合学科地域枠)		
		6人(地域産業振興枠)	1校当たり1人	

(注) 1 本学が実施する学校推薦型選抜に出願した者は、本学を含む国公私立大学が実施する他の総合型選抜及び学校推薦型選抜への出願はできません。

ただし、本学における推薦Ⅰで合格者とならなかった者は、推薦Ⅰと同一の学科・専攻・コースを志望する場合に限り、本学における推薦Ⅱに出願することができます。

2 学校推薦型選抜において記載されている「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

3 合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。

4 理工学部理工学科昼間の募集人員の()内の数は、各コースの受入人員の目安です。

5 理工学部理工学科夜間主の募集人員「若干人」は、前期日程の募集人員に含まれます。

6 生物資源産業学部について

① 専門高校・総合学科全国枠は、全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象とします。

② 専門高校・総合学科地域枠は、徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象とします。

7 統廃合された高等学校等から推薦できる人数については、経過措置を設けていますので、本学ホームページ受験生サイトで確認してください。

6 推薦要件及び選抜方法等

(1) 第1次選考について

理工学部（次世代光フロンティア入試）及び生物資源産業学部については、志願者数の状況によっては、出願書類の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考を行います。

第1次選考実施の有無については、令和6年11月13日（水）16時以降に本学ホームページ受験生サイトで発表します。

第1次選考を実施する場合は、令和6年11月15日（金）に行います。

選考結果は、同日付けで本人及び推薦高等学校の長に文書により通知し、同日16時以降に本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、令和6年11月19日（火）までに文書が到着しない場合は、必ず入試課に電話照会してください。

(2) 試験実施日時及び場所

志願者に対して、下記試験場で面接等を行います。理工学部（次世代光フロンティア入試）及び生物資源産業学部の志願者については、第1次選考を実施しなかった場合は志願者全員、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者のみに対して、下記試験場で面接等を行います。

試験開始30分前までに入室してください。

学 部	日 時			試験実施場所
総合科学部	令和6年11月23日 (土)	小論文	9:00~10:00	総合科学部（常三島キャンパス） 徳島市南常三島町1丁目1番地
		面 接	10:30~	
医学部医科栄養学科	令和6年11月21日 (木)	基礎学力考査	9:00~11:20	医学部（蔵本キャンパス） 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
	令和6年11月22日 (金)	集団討論 個人面接	9:00~	
理工学部 (昼間) (夜間主)	令和6年11月22日 (金)	面 接	9:00~	理工学部（常三島キャンパス） 徳島市南常三島町2丁目1番地
生物資源産業学部	令和6年11月22日 (金)	小論文	10:00~11:30	理工学部（常三島キャンパス） 徳島市南常三島町2丁目1番地
		面 接	13:00~	

(3) 推薦要件及び選抜方法等

学部・学科	総合科学部	
	社会総合科学科	〈活動実績重視型〉
募集人員	15人	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者</p> <p>(3) 高等学校等における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(4) 高等学校等時代に部活動、校外活動、芸術及びスポーツ等のいずれかの分野で優れた実績を有する者で、入学後はその経験を活かしてリーダー的存在となりうる者</p> <p>(注1) 出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員は、1校当たり2人です。</p>	
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します（総得点：400点満点）。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、指定調査書 書類審査は集団面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 小論文〔100点〕 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力（論述能力、表現力等）を判定します。 小論文の得点が100点満点中60点未満の場合は、合格者となりません。</p> <p>3 集団面接〔300点〕 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合があります。</p>	
備考		

学部・学科	総合科学部	
	社会総合科学科	〈英語能力重視型〉
募集人員	5人	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者</p> <p>(3) 高等学校等における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(4) 調査書の英語の学習成績の状況が4.3以上の者又は次のいずれかの英語能力試験の成績を修めた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定 1,950点以上 ・TOEIC (L&R) 550点以上 ・TOEFL iBT 42点以上 ・IELTS 4.0以上 ・Cambridge English (リングスキルも可) 140点以上 <p>英語能力試験の成績は、出願時点において有効なもの、有効期限のない場合は、その受験日が出願時点から遡り2年以内であるものに限ります。証明書等のコピー（A4サイズ）は、必ず添付してください。</p> <p>(注1) 出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>	
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します（総得点：400点満点）。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、指定調査書（課題作文〔英語で記入〕を含む） 書類審査は個人面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 小論文（日本語）〔100点〕 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力（論述能力、表現力等）を判定します。 小論文の得点が100点満点中60点未満の場合は、合格者となりません。</p> <p>3 個人面接（スピーチ等含む。）〔300点〕 「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定します。</p> <p>(1) 提出した指定調査書の課題作文について英語でスピーチ（3分）を行います。 （A5サイズまでのメモ用紙に限り持ち込み可）</p> <p>(2) (1)に対する簡単な質疑応答（英語）を行います。</p> <p>(3) 志望動機等に関する質疑応答（日本語）を行います。</p>	
備考		
その他	合格者は、2年次進級時に「国際教養コース」に優先的に所属できます。	

学部・学科	医 学 部	
	医 科 栄 養 学 科	<主体性重視型>
募集人員	12人	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、将来予防医学及び治療医学を基盤とする栄養学に関する研究に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり2人です。</p>	
選抜方法等	<p>下記1～4の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書</p> <p>2 基礎学力考査 「英語」「数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C(ベクトルのみ))」の基礎学力を確認する考査(記述式)を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定します。 ※「英語」の出題範囲は、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」とします。(※「読むこと」、「書くこと」に関する出題を行います。)</p> <p>3 集団討論 複数の評価担当者による集団討論を行います。</p> <p>4 個人面接 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格になることがあります。</p>	
備 考	志望理由書には、医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、300字程度で詳細に記入してください。	

学部・学科 ・コース	理 工 学 部																																																											
	理 工 学 科 (昼 間) <理工学経験重視型>																																																											
	社会基盤 デザインコース	機械科学コース	応用化学 システムコース	電気電子 システムコース	知能情報コース	光システムコース																																																						
募集人員	2人	2人	2人	2人	1人	1人																																																						
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校の工業に関する学科を令和7年3月卒業見込みの者であり、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td>数Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工業情報数理※、数Ⅲから1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※旧課程を履修した者においては、「工業情報数理」を旧「工業数理基礎」に読み替えるものとする。</p> <p>(2) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.5以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から各コースに推薦できる人員は、1校当たり各コースの募集人員以内とします。</p>						履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ	数Ⅱ	工業情報数理※、数Ⅲから1	理	科学と人間生活、物基、化基から2																																														
履 修 教 科 ・ 科 目																																																												
数	数Ⅰ																																																											
	数Ⅱ																																																											
	工業情報数理※、数Ⅲから1																																																											
理	科学と人間生活、物基、化基から2																																																											
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書</p> <p>2 個人面接(口頭試問あり) 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。口頭試問を行う場合における科目等の範囲は、下表のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">【口頭試問において基礎学力・理解力を確認する科目の範囲】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コース</th> <th colspan="3">数 学</th> <th colspan="2">理 科</th> <th rowspan="2">英 語</th> </tr> <tr> <th>数学Ⅰ・ 数 学 A</th> <th>数学Ⅱ・ 数 学 B</th> <th>数学Ⅲ・ 数 学 C</th> <th>物 理 ・ 物理基礎</th> <th>化 学 ・ 化学基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会基盤デザイン^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機 械 科 学</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>応用化学システム^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>電 気 電 子 シ ス テ ム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知 能 情 報</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>光 シ ス テ ム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">注 社会基盤デザインコース及び応用化学システムコースにおいては、数学、理科及び英語の中から口頭試問を行う場合があります。</p>						コース	数 学			理 科		英 語	数学Ⅰ・ 数 学 A	数学Ⅱ・ 数 学 B	数学Ⅲ・ 数 学 C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎	社会基盤デザイン ^(注)		●		●	●	●	機 械 科 学		●		●			応用化学システム ^(注)		●		●	●	●	電 気 電 子 シ ス テ ム		●					知 能 情 報		●				●	光 シ ス テ ム		●				●
コース	数 学			理 科		英 語																																																						
	数学Ⅰ・ 数 学 A	数学Ⅱ・ 数 学 B	数学Ⅲ・ 数 学 C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎																																																							
社会基盤デザイン ^(注)		●		●	●	●																																																						
機 械 科 学		●		●																																																								
応用化学システム ^(注)		●		●	●	●																																																						
電 気 電 子 シ ス テ ム		●																																																										
知 能 情 報		●				●																																																						
光 シ ス テ ム		●				●																																																						
備 考																																																												

学部・学科 ・コース	理 工 学 部																				
	理 工 学 科 (昼 間) <次世代光フロンティア入試>																				
	光システムコース																				
募集人員	5人																				
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、次の教科・科目を履修した（見込みを含む。）者</p> <p>① 普通科に在籍している者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、物、化</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「数学C」については、旧教育課程の履修者においては、「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を含む科目とする。</p> <p>② 理数に関する学科に在籍している者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>理数物理、理数化学</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 専門教育を主とする学科に在籍している者（①の教科・科目でも可）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ、数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「情報に関する科目」は、次ページの新旧対照表で該当するいずれかの科目とする。</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、発光・受光素子、光材料、光情報、生体光学など次世代光科学に関する研究に強い関心を持ち、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることに意欲を有する者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者であり、実用英語技能検定が1,700点以上の者又は Cambridge English（リンガスキルも可）120点以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p>		履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C	理	物基、化基、物、化	履 修 教 科 ・ 科 目		数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ	理	理数物理、理数化学	履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ、数Ⅱ	情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ	理	科学と人間生活、物基、化基から2
履 修 教 科 ・ 科 目																					
数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C																				
理	物基、化基、物、化																				
履 修 教 科 ・ 科 目																					
数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ																				
理	理数物理、理数化学																				
履 修 教 科 ・ 科 目																					
数	数Ⅰ、数Ⅱ																				
	情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ																				
理	科学と人間生活、物基、化基から2																				
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数等の状況によっては、「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、個人面接を行います（総得点：150点満点）。</p> <p>1 書類審査 [50点] 調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書</p> <p>2 個人面接（口頭試問を含む。）[100点] ※口頭試問は「数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）」の中から試問します。口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんに関わらず不合格とします。</p>																				
備 考	<p>・実用英語技能検定及び Cambridge English（リンガスキルも可）の成績は、出願時までに取り得したもので（その受験日が出願時点から遡り2年6か月以内であること）に限ります。活動報告書「資格・検定等」を利用の上、必要書類を提出してください。</p>																				

新旧対照表

学科名 \ 課程	新課程	旧課程
工業に関する学科	工業情報数理	工業数理基礎 情報技術基礎
商業に関する学科	情報処理	情報処理
水産に関する学科	海洋情報技術	海洋情報技術
家庭に関する学科	生活産業情報	生活産業情報
農業に関する学科	農業と情報	農業情報処理
看護に関する学科	看護情報	看護情報活用
情報に関する学科	情報産業と社会	情報産業と社会 情報と問題解決
福祉に関する学科	福祉情報	福祉情報活用

学部・学科 ・コース	理 工 学 部																																																									
	理 工 学 科 (夜 間 主) <理工学経験重視型>																																																									
	社会基盤 デザインコース	機械科学コース	応用化学 システムコース	電気電子 システムコース	知能情報コース																																																					
募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人																																																					
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校の工業に関する学科を令和7年3月卒業見込みの者であり、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td>数Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工業情報数理※、数Ⅲから1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※旧課程を履修した者においては、「工業情報数理」を旧「工業数理基礎」に読み替えるものとする。</p> <p>(2) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から各コースに推薦できる人員は、特に制限を設けません。</p>					履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ	数Ⅱ	工業情報数理※、数Ⅲから1	理	科学と人間生活、物基、化基から2																																													
履 修 教 科 ・ 科 目																																																										
数	数Ⅰ																																																									
	数Ⅱ																																																									
	工業情報数理※、数Ⅲから1																																																									
理	科学と人間生活、物基、化基から2																																																									
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書</p> <p>2 個人面接(口頭試問あり) 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。口頭試問を行う場合における科目等の範囲は、下表のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">【口頭試問において基礎学力・理解力を確認する科目の範囲】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コース</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="3">数学</th> <th colspan="2">理科</th> <th rowspan="2">英語</th> </tr> <tr> <th>数学Ⅰ・ 数学A</th> <th>数学Ⅱ・ 数学B</th> <th>数学Ⅲ・ 数学C</th> <th>物 理 ・ 物理基礎</th> <th>化 学 ・ 化学基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会基盤デザイン^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機 械 科 学</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>応用化学システム^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>電 気 電 子 シ ス テ ム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知 能 情 報</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 社会基盤デザインコース及び応用化学システムコースにおいては、数学、理科及び英語の中から口頭試問を行う場合があります。</p>					コース	科目	数学			理科		英語	数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ・ 数学C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎	社会基盤デザイン ^(注)		●			●	●	●	機 械 科 学		●			●			応用化学システム ^(注)		●			●	●	●	電 気 電 子 シ ス テ ム		●						知 能 情 報		●					●
コース	科目	数学			理科			英語																																																		
		数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ・ 数学C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎																																																				
社会基盤デザイン ^(注)		●			●	●	●																																																			
機 械 科 学		●			●																																																					
応用化学システム ^(注)		●			●	●	●																																																			
電 気 電 子 シ ス テ ム		●																																																								
知 能 情 報		●					●																																																			
備 考																																																										

学部・学科	<p style="text-align: center;">生 物 資 源 産 業 学 部</p> <p style="text-align: center;">生 物 資 源 産 業 学 科 〈地方創生型〉</p>
募集人員	6人（専門高校・総合学科全国枠2人、専門高校・総合学科地域枠4人）
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>【専門高校・総合学科全国枠】</p> <p>(1) 全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後にバイオ産業、食品産業、1次産業、6次産業のいずれかの担い手として強い意欲を持つ者又は生物資源・生物資源産業に関連する探究活動の経験を持つ者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>【専門高校・総合学科地域枠】</p> <p>(1) 徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後に徳島県の産業を担い、地域創生に強い意欲を持つ者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、専門学校・総合学科全国枠と専門高校・総合学科地域枠を合わせて1校当たり2人以内です。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数の状況によっては、「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、小論文、個人面接（口頭試問含む。）を行います（総得点：650点満点）。</p> <p>1 書類審査 [150点] 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 小論文 [300点] 日本語で書かれた文章や図表等により、「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行います。</p> <p>3 個人面接（口頭試問含む。） [200点] 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認を行う場合があります。 また、高校の基礎学力を確認するため、口頭試問（化学基礎・化学）を行います。</p>
備 考	小論文又は口頭試問の得点が一定水準以下の場合、総得点のいかんに関わらず不合格とします。

学部・学科	<p style="text-align: center;">生 物 資 源 産 業 学 部</p> <p style="text-align: center;">生 物 資 源 産 業 学 科 〈地方創生型〉</p>
募集人員	<p style="text-align: center;">6人（地域産業振興枠）</p>
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、自ら住む地域の農林水畜産業や生物資源産業に愛着をもち、将来において地域産業振興のリーダーとして実現性のある新しい価値を創造し、地方創生に意欲を持つ者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後に、徳島県内高校卒業者は徳島県内、徳島県外高校卒業者は出身都道府県内又は徳島県内におけるバイオ産業、食品産業、1次産業、6次産業のいずれかの担い手として強く志望する者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者であり、実用英語技能検定が1,700点以上の者又は Cambridge English（リンガスキルも可）120点以上の者</p> <p>(4) 高等学校において「化学」又は「理数化学」のいずれかを履修した（見込みを含む。）者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数の状況によっては、書類審査に基づく第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、小論文及び個人面接による選抜を行います。また、小論文又は口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんに関わらず不合格とします。</p> <p>1 書類審査 [150点] 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 小論文 [300点]</p> <p>3 個人面接（プレゼンテーション、口頭試問が中心） [200点] ※プレゼンテーションは「学びの設計書」に関する内容（日本語で5分） ※口頭試問は「化学基礎・化学」</p>
備 考	<p>※本枠は、徳島県内のみならず全国各地の地域産業振興への貢献に意欲のある志願者を選抜します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定及び Cambridge English（リンガスキルも可）の成績は、出願時まで取得したもの（受験日が出願時点から遡り2年6か月以内であること）に限ります。活動報告書「資格・検定等」を利用の上、必要書類を提出してください。 ・個人面接の「プレゼンテーション」は、「学びの設計書」をもとに説明用資料（A4・1枚～2枚程度：様式任意）を作成し、試験当日に持参することを認めます（作成は任意）。説明用資料は、タイトル、受験番号、氏名を必ず記入（様式は任意）の上、各自で5部を印刷・持参し、集合時間時に提出してください（返却はできません）。アドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針を踏まえ、提出した「学びの設計書」との整合性が取れるようコンパクトに作成してください。プレゼンテーション時において、説明用資料、メモ用紙の持ち込みは可能です。プロジェクターは利用できません。ホワイトボードを用意しますので利用する場合は面接時に申告してください。

7 出願手続

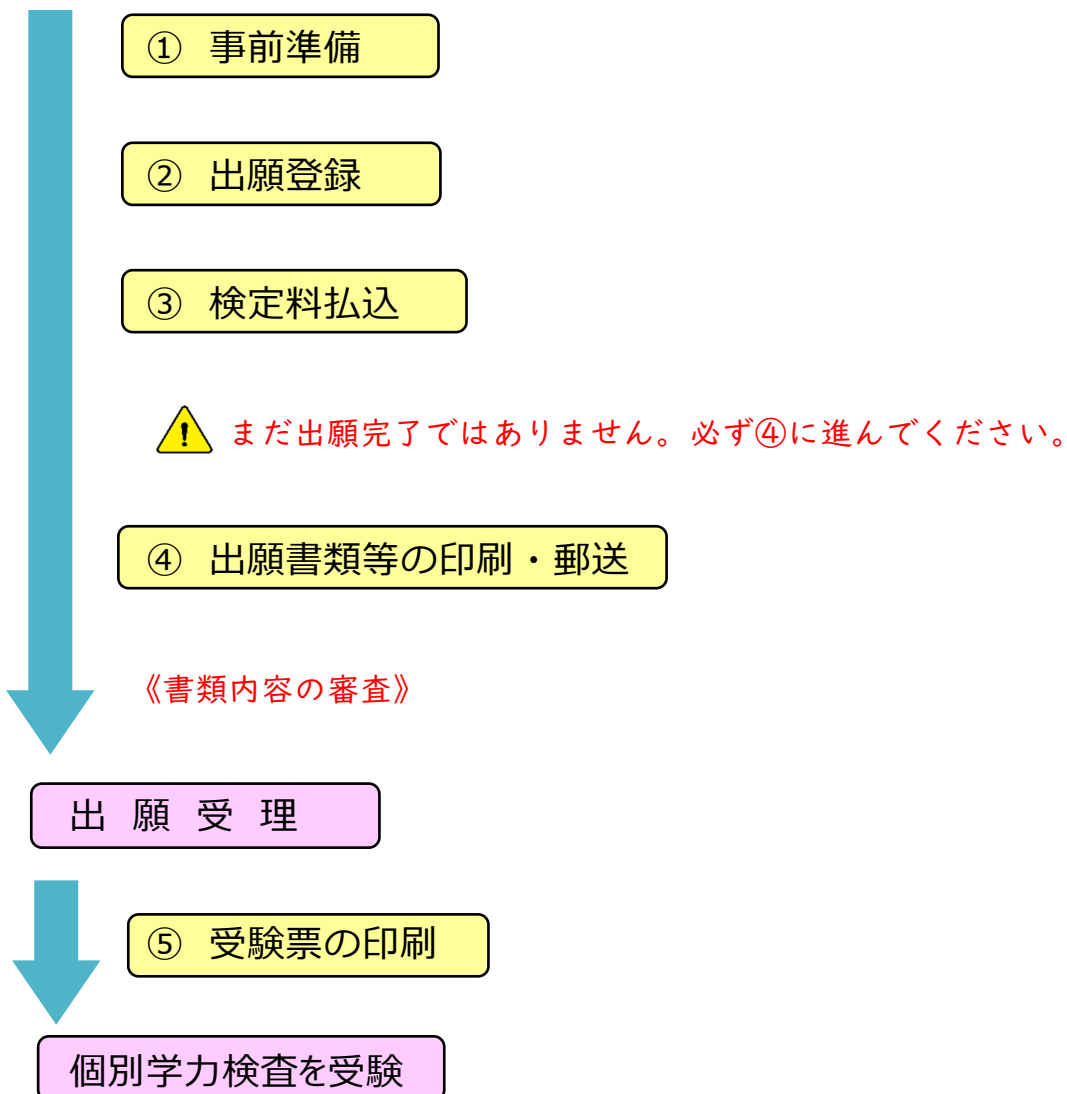
インターネット出願サイトで登録し、出願書類等を郵送することで出願となります。

次の①～④をすべて期間内に完了してください。インターネットで入力完了していても、出願書類等が期限までに到着しない場合は、出願を受理することができません。

出願期間を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって手続してください。

ご家庭にインターネットを利用できる環境がない場合は、学校、図書館等のセキュリティ対策が信頼できる場所での利用を推奨します。また、お近くにそれらの環境がない場合は、出願締切日 5 日前までに入試課に相談してください。

■インターネット出願の流れ



(1) 学校推薦型選抜Ⅰ 郵送が必要な出願書類等

書類等の種別	総合科学部	医学部	理工学部	生物資源産業学部	取得方法	記入方法、注意事項等
入学願書	○	○	○	○	検定料支払手続完了後に、インターネット出願サイトから取得してください。	写真データの取込みが必要です。詳細は、〔インターネット出願手順マニュアル〕を確認してください。
活動報告書	-	-	○	○		インターネット出願サイトで、直接入力してください。検定料支払手続完了後に印刷できるようになりますので、印刷の上、他の出願書類と併せて提出してください。なお、「活動報告書」作成要領を確認してください。
推薦書	○	○	○	○	本学ホームページの「インターネット出願」から取得してください。	所定の用紙により、出身高等学校の長が作成し、厳封したものの。 学部により様式が異なりますので、注意してください。
志望理由書	-	○	○	-		〔記入上の注意〕に留意の上、所定の用紙に志願者本人が <u>自筆</u> で書いてください。
学びの設計書	-	-	-	○		〔記入上の注意〕に留意の上、所定の用紙に志願者本人が <u>自筆</u> で書いてください。
指定調査書	○	-	-	-		記入例を参考に、所定の用紙に志願者本人が <u>自筆</u> で書いてください。
調査書	○	○	○	○	各高等学校で準備してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・出身高等学校の長が、文部科学大臣の定めた様式により作成してください。 ・大学入学者選抜実施要項に準拠して作成し、厳封してください。本学では、全選抜において調査書に特別な記述を求めることや、調査書の参考となる資料の提出を求めることはありません。

出願書類提出用封筒	○	○	○	○	角形2号封筒(240mm×332mm)を自分で準備してください。	「入学願書送付先PDF」を出力し、必要事項を記入の上、封筒表面に貼ってください。上記の郵送が必要な出願書類等を入れ、 簡易書留速達 で送付できる料金分の切手を貼って、送付してください。
障がい等のある入学志願者との事前相談 回答文書(写し)	申請者のみ				申請された方には、入試課から回答文書を送付します。	回答文書の写しを上記出願書類と併せて提出してください。

(2) 出願に際しての注意事項

① 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した場合は、他の国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することはできません。

ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）に不合格となった者は、同一学科・専攻・コースを志望する場合に限り、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願することができます。

また、国公立大学の学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した者は、当該大学・学部の定める方法により入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学の一般選抜等を受験しても合格者となりません。

② 保存期間の経過等により調査書が発行できない場合は、以下のとおりとします。なお、改姓等により入学願書と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓等を証明する書類を併せて提出してください。

- ・卒業後5年以内－調査書
- ・卒業後5年～20年－卒業証明書、単位修得証明書
- ・卒業後20年以上－卒業証明書

③ 出願書類等に次のような不備がある場合は、受理できません。

- ・記入漏れや誤記入のあるもの
- ・必要な出願書類等が添付されていないもの

④ 出願受理後は、出願の取消し、書類の返却及び記載事項の変更を認めません。また、領収した検定料は、「3 検定料の返還」に該当する場合を除き、返還しません。

⑤ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。

(3) 活動報告書の作成

活動報告書の作成に当たっては、本学ホームページの「活動報告書」作成要領を確認してください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/admission/act.html>

(4) 出願手順

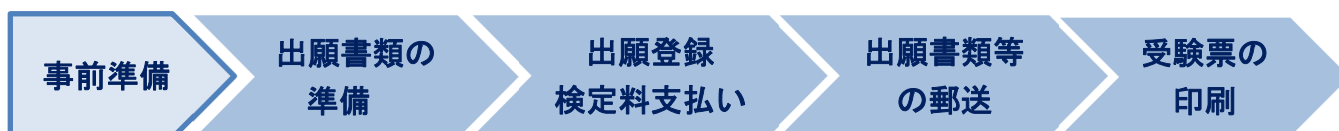
次の「インターネット出願手順マニュアル」に従って、出願手続きを行ってください。

令和7年度徳島大学【学校推薦型選抜Ⅰ】 インターネット出願手順マニュアル

出願登録及び 検定料支払期間	令和6年 11月5日（火）0時～11月11日（月）15時 ※10月22日（火）からインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書き保存）が可能です。
郵送書類 提出期間	令和6年 11月5日（火）～11月11日（月）17時必着 ※ただし、11月8日（金）までの消印があるもの限り、期限後に到着した場合でも受領します。

▼インターネット出願の流れ▼

インターネット出願サイトでの入力、検定料の支払いだけでは、出願は完了していません。必ず、「出願に必要な書類等」を提出期間内に郵送してください。これらが全て到着し、内容の審査が終了した時点で出願が受理されます。



事前準備

◆インターネット出願システム利用推奨環境

推奨ブラウザ	[Windows] Microsoft Edge 最新バージョン、Google Chrome 最新バージョン、 Mozilla Firefox 最新バージョン [Mac] Safari 最新バージョン
ブラウザ設定の確認	・ JavaScript が「有効」 ・ Cookie が「有効」
スマートフォン タブレット	Android : 12.0 以上 (Android Chrome 最新バージョン) iOS : 15.0 以上 (Safari 最新バージョン)
その他	入学者選抜要項、学生募集要項、出願書類等を PDF フォーマット で閲覧、印刷する場合には、Adobe Acrobat Reader11.0 以上を推 奨

- ※ 使用するパソコン等の入力機器は、自宅・学校など、利用場所は問いません。自己責任においてご利用ください。
- ※ スマートフォン、タブレットを利用する場合は、機種によって対応できないものがあります。
- ※ 個人情報の流出には、十分ご注意ください。

◆メールアドレス

出願登録にはメールアドレスが必要になります。ログイン時や、出願に関する重要なお知らせが配信されるため、日常的に受信可能な個人用メールアドレスを準備してください。
※携帯メールを登録した場合は、ドメイン (@honbu.tokushima-u.ac.jp、@postanet.jp) を受信指定してください。

◆顔写真

出願登録の際、顔写真データのアップロードが必要となるので、あらかじめ用意してください。

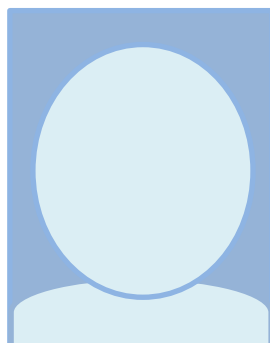


- ◇ 顔の大きさは写真全体の 2/3 程度
- ◇ 出願者本人のみを撮影したもの
- ◇ 6ヶ月以内に撮影したもの
- ◇ 正面・無帽・無背景
- ◇ 鮮明であり、明るさやコントラストが適切なもの
- ◇ カラー、白黒は問いません。
- ◇ アプリ等で画像を加工された写真は受付できません。
- ◇ 現像された写真を撮影したものは受付できません。

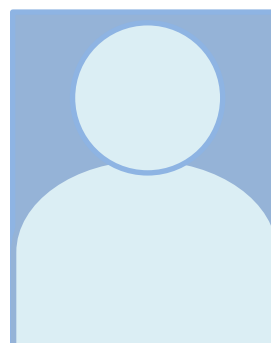
※写真サイズは JPEG 形式で 3MB までのものを使用してください。

例) 顔の大きさ

○承認



×否認



■出願書類の準備

□出願書類の詳細

学生募集要項「郵送が必要な出願書類等」をご確認ください。

- 調査書の準備（各高等学校にてご準備ください。）
- 提出書類の準備（出願書類の様式は、本学ホームページ→インターネット出願→「出願サイト」からダウンロードしてください。）
- 封筒（角形2号）、切手（簡易書留速達で送付分）

■出願登録・検定料支払い

□出願情報入力

本学HPよりインターネット出願サイトにアクセスし、必要事項を登録してください。

- 検定料支払い
- 入学願書等の印刷

■出願書類等の郵送

□簡易書留速達で郵送

入学願書・調査書・作成した書類を封筒（角形2号）に入れ、本学入試課へ郵送してください。

- ※出願書類の本学への到着確認は、簡易書留番号にて郵便局へ照会してください。
- ※印刷は片面とし、複数ページの様式は、左上をクリップ留めしてください。

■デジタル受験票の印刷（ダウンロード開始日以降）

□デジタル受験票を印刷

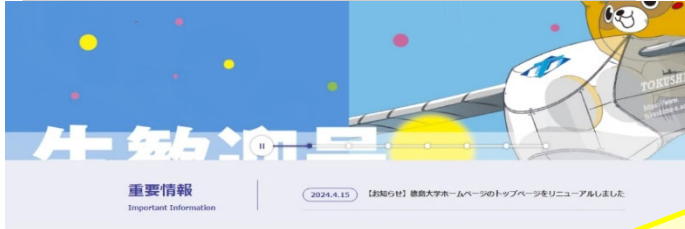
受験票ダウンロード開始日以降に、出願サイトからダウンロードできるようになります。

※A4用紙に印刷したデジタル受験票を、試験当日必ずご持参ください。

～ 出願登録手順 ～

STEP 1 徳島大学ホームページにアクセス

徳島大学ホームページトップ <https://www.tokushima-u.ac.jp/>



入試情報
Entrance Examination

インターネット出願 (学部)



本学ホームページより
「インターネット出願」をクリック

選抜別	
一般選抜 > 出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ	令和4年 予備校 受験要 受検要
学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す特別入試) > 出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ	令和4年1月18日(火)～1月25日(火) 予備校 受験要 受検要 受験要ダウンロード開始日: 令和4年1月25日(火)
総合型選抜 > 出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ	令和3年10月22日(金)～10月29日(金) 予備校開始: 令和3年10月8日(金) 受験要ダウンロード開始日: 令和3年11月10日(水)
学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない特別入試) > 出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ	令和3年11月1日(月)～11月8日(月) 予備校開始: 令和3年10月18日(月) 受験要ダウンロード開始日: 令和3年11月10日(水)
帰国生徒選抜 > 出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ	
社会人選抜 > 出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ	
私費外国人留学生選抜 > 出願サイトへ	令和3年12月6日(月)～12月23日(水) 予備校開始: 令和3年11月22日(月) 受験要ダウンロード開始日: 令和4年1月6日(木)

出願する入試区分の
「出願サイト・出願書類 PDF 掲載ページへ」をクリック



インターネット出願登録サイトへアクセス
→STEP 2 ログイン・ユーザー登録画面へ

① 出願書類の様式は、こちらから入手できます

STEP 2 ユーザー登録・ログイン

「四国国立5大学インターネット出願」のユーザー登録・ログイン画面が表示されます。

・四国国立5大学のインターネット出願システムを既に利用されたことがある方
・進学支援サイト利用登録者

→「ユーザーID」と「パスワード」を入力しログイン
・・・STEP 4へ

・はじめて、インターネット出願システムを利用される方
→「新規登録」をクリック・・・STEP 3へ

※「進学支援サイト」は、その利用の有無を含め、本学の入学者選抜と直接の関連はありません。

STEP 3 ユーザー登録 ※はじめて利用される方のみ

「利用規約」画面

同意するにチェックし、「次へ」をクリック

メールアドレス登録画面 (ID 登録)

メールアドレスを入力（確認を含めて2回）し、「登録」をクリック

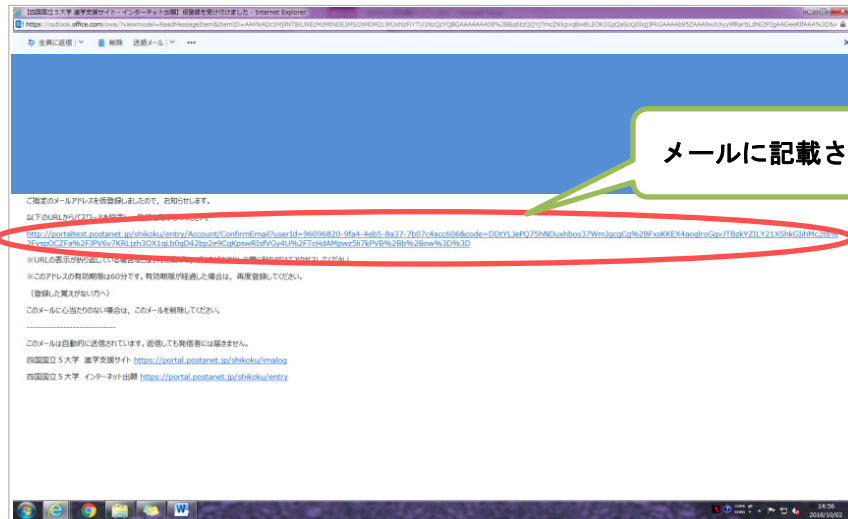
※メールアドレスは、以後ログインのためのIDとなります

※携帯メールを登録した場合は、ドメイン (@honbu.tokushima-u.ac.jp、@postanet.jp) を受信指定してください。

③完了画面へ移行



④配信されたメールの画面



⑤パスワード登録画面に遷移



利用登録完了

※ 2回目以降は、STEP 2 のログイン画面からログインしてください。

STEP 4 出願登録・情報の入力

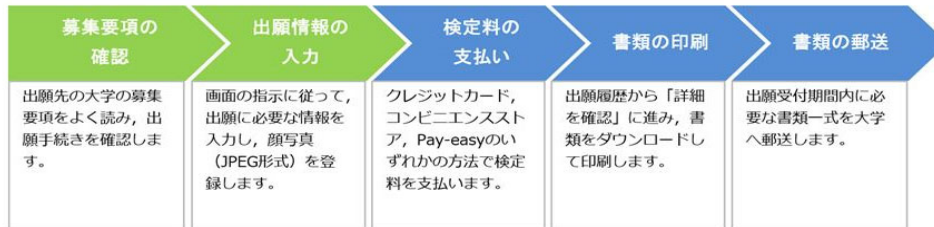
STEP2 から

または

STEP3 から

「インターネット出願に関するQ&A」は[こちら](#)

◆出願の流れ



出願情報の入力が可能になっても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（青色部分）に進むことができません。

※詳細は出願先の大学によって異なりますので、各大学の募集要項を必ず読んでください。

※上図クリックで拡大

※一つのユーザーアカウントで、同時に複数のログインを行わないでください。

出願履歴

出願先の選択

「徳島大学」を選択し、「出願登録」ボタンをクリック

出願

大学

選択してください

出願登録

出願情報登録画面トップ



留意事項 → 入試区分 → 志望学科 → 出願内容の確認 → 志願者情報の入力 → 志願者情報の確認 → 支払手続き

留意事項を確認してください

以下の留意事項をよくお読みになり、内容にご同意いただいたうえでお申込みください。

ご同意いただけない場合はお申込みになれません。

1. 出願する入試区分の学生募集要項を必ず確認してください。出願資格を満たしていない者は、出願できません。
2. インターネット出願サイトでの登録完了後、検定料のお支払い及び出願書類の郵送をもって出願手続きの完了とします。
3. 一旦納入された検定料及び手数料は、返還できません。ただし、事情によっては返還できる場合がありますので、「本学ホームページ→受験生サイト→入試案内→検定料の返還」をご覧ください。
4. 受付後、登録内容の変更はできませんので、ご注意ください。
5. 入金確認を通知するメールは、大切にしてください。
6. インターネット出願サイトのご利用は、必ず「出願情報登録」画面から行ってください。他の申込みは受け付けません。
7. 出願の手続きが出願期間内に間に合いません。出願書類の郵送を速やかに行ってください。
8. この留意事項は予告無く変更することがあります。

同意にチェックを入れる

上記内容に同意する

「次へ」のボタンをクリック

このページを印刷する

次へ

入試区分を選択

留意事項 → 入試区分 → 志望学科 → 出願内容の確認 → 志願者情報の入力 → 志願者情報の確認 → 支払手続き

入試区分を選択してください

総合型選抜

学校推薦型選抜 I

学校推薦型選抜 I 理工学部（夜間主コース）

帰国生徒

社会人

社会人 理工学部（夜間主コース）

戻る 次へ

入試区分を選択する

「次へ」のボタンをクリック

志望学部学科を選択

留意事項 → 入試区分 → 志望学科 → 出願内容の確認 → 志願者情報の入力 → 志願者情報の確認 → 支払手続き

試験日、志望学部学科、試験会場を選択してください

志望学部学科 選択してください

会場 徳島大学

戻る 次へ

志望学部学科を選択する
（会場は徳島大学のみ）

「次へ」のボタンをクリック

出願内容確認画面

留意事項 → 入試区分 → 志望学科 → 出願内容の確認 → 志願者情報の入力 → 志願者情報の確認 → 支払手続き

出願内容をご確認ください。
出願内容を修正する場合は、「出願内容を修正する」ボタンをクリックしてください。
この内容でよろしければ「次へ」ボタンをクリックしてください。

出願内容をご確認ください

■ 内容：学校推薦型選抜 I

日程	出願	志望学部学科	会場
1	医学部 医科栄養学科		徳島大学

出願内容を修正する 次へ

出願内容を確認し、「次へ」のボタンをクリック

志願者情報入力画面

[登録事項](#)
[入学方針](#)
[出願学科](#)
[出願内容の確認](#)
[志願者情報の入力](#)
[志願者情報の確認](#)
[支払手続](#)

志願者情報を入力してください

進学支援サイトから情報を取り込む場合は「進学支援サイトの情報を反映」ボタンを押してください。

進学支援サイトの情報を反映

志願者情報

カナシメイ **必須** 姓 名

氏名 **必須** 姓 名

性別 **必須** 男 女

生年月日 **必須** 西暦 年 月 日

メールアドレス **必須** @

メールアドレス(再入力) **必須** @

登録確認メール送信

【登録確認メール送信ボタンについて】
登録確認メール送信ボタンを押下した時点で、
入力したメールアドレスにシステムメールが送信されます。

写真アップロード

登録写真 **必須**

画像をアップロードする

- 出願者本人のみを撮影したものの
- 6カ月以内に撮影したものの
- 正面、無帽、無眼鏡
- 鮮明であり、明るさやコントラストが適切
- アプリ等で画像を追加された写真は受付できません
- JPEG形式で240KBまでの画像をアップロードしてください
- 画像アップロードするにはポップアップを確認する必要があります

進学結果送付先__住所

郵便番号 **必須** -

都道府県 **必須** 選択してください

住所1 **必須**
(例) 徳島市

住所2
(例) 新島町2丁目24番地

住所3
(例) Oマンション101

電話 **必須** - -
- (ハイフン) は、入力しないでください。

携帯電話 - -
- (ハイフン) は、入力しないでください。

必要事項を入力

出身高校情報欄にて、「学科」の項目は必須となっています。「高校名」欄で高等学校・中等教育学校以外を選択した場合は「その他」を選択してください。選択肢にない学科の出身者は「その他」を選択し、緊急連絡先の下欄の出身高校補足情報に学科名を記載してください。

出身高校情報

高校名または高校コード

上記以外の高等学校

高校名 **必須**

<検索>
高校名、高校コードを入力すると該当する候補が表示され、選択すると高校を指定できます。また、「高校検索」ボタンを押下することで出身高校検索画面より検索することも可能です。

<その他高校・高卒認定の場合>
1. 都道府県選択後、出身校名の一覧に該当する出身校がない場合は、学校種別を「その他」にして検索ボタンを押下し「上記以外の高等学校」欄に学校名を入力してください。
出身高校検索画面では学校種別に「その他」で検索できます。
2. 高卒認定等、該当する出身校がない場合は、都道府県・学校種別を「その他」にして検索ボタンを押下し、出身校名欄に該当するものを選択してください。

卒業（見込み）年または資格取得年 **必須** 西暦 年 月

課程 **必須** 選択してください
「高校名」欄で、高等学校・中等教育学校以外を選択した場合は、「その他」を選択してください。

学科 選択してください
「高校名」欄で、高等学校・中等教育学校を入力した場合は、必ず選択してください。

緊急連絡先

緊急連絡先__電話番号 **必須** - -
- (ハイフン) は、入力しないでください。

出身高校補足情報

その他学科名
出身高校情報欄の学科で、「その他学科」を選択した場合は、入力してください。

アンケート (必須)

A Pを確認した。
A Pは、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）のことで、入学者に求める能力や適性を示したものです。本学への入学に際しては、事前に読んでいただくことが重要です。

A P確認状況 **必須**

「次へ」をクリックすると、入力内容を確認できます
①内容に誤りがないか、必ず確認してください

※ 写真のアップロード画面 ※



＜証明写真の承認条件＞

- ◇ 顔の大きさは写真全体の 2/3 程度
- ◇ 出願者本人のみを撮影したもの
- ◇ 6 ヶ月以内に撮影したもの
- ◇ 正面・無帽・無背景
- ◇ 鮮明であり、明るさやコントラストが適切なもの
- ◇ カラー、白黒は問いません
- ◇ アプリ等で画像を加工された写真は受付できません
- ◇ 現像された写真を撮影したものは受付できません

※顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができるので、顔がはっきり写るよう適宜調整してください。

※受付できない写真と判断された場合は、「否認」のメールが登録したアドレスに届きますので、速やかに適切な写真を再アップロードしてください。

※写真サイズは JPEG 形式で 3MB までのものを使用してください。

必要事項を入力してください

※活動報告書の詳細

本学ホームページ→受験生サイト→入試案内
→「活動報告書」作成要領をご確認ください

活動記録情報を入力してください

反映時には現在入力中の情報が破棄されますのでご注意ください。

進学支援サイトの情報を反映

意欲的に取り組んだ活動
(シートA) 上限：2件

1	(活動報告書) タイトル 必須	<input type="text"/>	0文字/100文字
	期間 必須	選択してください	「意欲的に取り組んだ内容」の期間を選択して下さい。
	書類の有無 必須	選択してください	「意欲的に取り組んだ内容」の証拠書類が有る場合は、「参考書類」として添付してください。
	枚数 必須	0	1文字/25文字 添付する「参考資料」の総枚数を記載してください。 添付書類がない場合は、「0」を記載してください。
	書類名 必須	<input type="text"/>	

英語に関する資格・検定
(シートB) 上限：3件 内容を証明できる書類を必ず提出してください。

1	取得した資格、合格した検定等の名称	選択してください	
	その他	<input type="text"/>	0文字/100文字
	スコア (総合)	<input type="text"/>	0文字/100文字
	単スコア、科目名	<input type="text"/>	
	取得等の学年	0文字/5文字 (例) 高校2年	

2件以上作成する場合は、入力欄を追加する

入力欄を追加する

反映時には現在入力中の情報が破棄されますのでご注意ください。

進学支援サイトの情報を反映

英語以外に関する資格・検定
(シートB) 上限：10件 内容を証明できる書類を必ず提出してください。

1	取得した資格、合格した検定等の名称	<input type="text"/>	0文字/80文字
---	-------------------	----------------------	----------

「次へ (内容確認)」をクリックしてください。
内容に誤りがないか、必ず確認してください
※検定料の支払後は、修正できません

活動報告書確認画面 ※理工学部、生物資源産業学部のみ



ポートフォリオデータを確認してください

意欲的に取り組んだ活動

1	
(活動報告書) タイトル	
期間	
書類の有無	
枚数	
書類名	
意欲的に取り組んだ内容	
文字数	

英語に関する資格・検定

1	
取得した資格, 合格した検定等の名称	
その他	
スコア (総合)	
級・スコア・賞名等	
取得等の年月	
取得等の学年	

英語以外に関する資格・検定

1	
取得した資格, 合格した検定等の名称	
級・スコア・賞等	
取得等の年月	
取得等の学年	

戻る
次へ

入力した内容が表示されているか確認し、「次へ」をクリックしてください。

STEP 5 検定料の支払い

支払方法を選択し、支払い手続きに進んでください。

出願手続きはまだ完了していません

出願内容をご確認ください。

受験料： 17,000円
振込手数料： 550円
お支払期限： 2024/11/11
お支払合計： 17,550円

お支払方法の選択

◎コンビニ支払い

7-Eleven LAWSON FamilyMart MINI STOP 24時間 FamilyMart Smartmart

〇クレジット決済（以下がご使用頂けます）

VISA JCB AMERICAN EXPRESS Diners Club INTERNATIONAL

〇ペイジー支払い

pay-easy

支払い手続きに進まない場合は、ウィンドウを閉じてください。
(これまでの内容は保存されます。)

次へ

支払方法を選択

※「次へ」をクリックすると、支払方法の変更及び、
出願内容の変更（活動報告書含む）はできません。
※この画面で閉じた場合、これまでの内容は保存され
れます。

※コンビニエンスストア及びペイジーが利用可能な金融機関 ATM での支払いは、支払方法確定後に取
扱い店舗で支払手続きを行う必要があります。

例) コンビニエンスストアを選択した場合

ご希望のコンビニエンスストアをお選びください。

お支払い金額

コンビニを選択

選択	コンビニエンスストア	お支払い方法
<input type="radio"/>	ローソン 「お支払い金額」と「お支払い期限」をお控えの上、 店舗のLOPPにてお支払いください。	お支払い
<input type="radio"/>	ミニストップ 「お支払い金額」と「お支払い期限」をお控えの上、 店舗のLOPPにてお支払いください。	お支払い
<input type="radio"/>	ファミリーマート 「お支払い金額」と「お支払い期限」をお控えの上、 店舗の「マルチコピー」から「お支払い」をお選びください。	お支払い
<input type="radio"/>	デイリーヤマザキ/ヤマザキダイリーストア 「オンライン決済専用」をお控えの上、店舗にてお支払い。	お支払い
<input type="radio"/>	セイコーマート 「お支払い金額」と「お支払い期限」をお控えの上、店舗にてお支払い。 店舗のレジにてお支払い。お支払いが必要となります。	お支払い

次へ

お支払い内容

お支払い金額

お支払い期限

お支払い方法

お支払い内容

「お支払い内容」の画面を印刷いただき、
各コンビニにてお支払い

※各コンビニでの詳しい支払方法は、出願サイトにて確認してください。

STEP 6 入学願書等の印刷

検定料の支払手続きが完了すると、出願サイトから、以下の帳票が印刷できるようになります。
なお、印刷する帳票は全て **A4サイズ** で、カラー・白黒は問いません。

□入学願書（活動報告書を課している場合は願書のPDFに含まれています）


- * 内容を確認いただき、万一記載事項が誤っている場合は、入学願書に直接 **赤字** で修正ください。
（志願する大学・学部・学科の変更はできません。）

□入学願書送付先PDF（徳島大学入試課 行）

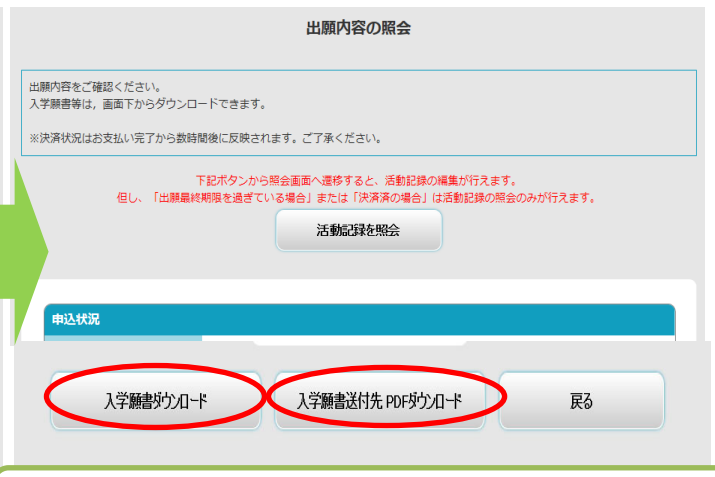
- * 角形2号封筒の表面に糊付けしてください。
- * 封筒裏面に差出人の郵便番号、住所、氏名を記載ください。（宛名票に出力された志願者情報と同じ内容としてください。）

【 入学願書等の入手方法 】

出願サイトに再度ログインし、「詳細を確認」ボタンをクリックする



The screenshot shows the application portal interface. On the left, there is a sidebar with '申込情報' (Application Information) and '出願内容' (Application Content). The '申込情報' section shows '学校' (University) as 徳島大学 (Tokushima University) and '出願登録' (Application Registration) as 2018年10月26日 13時0分. The '出願内容' section shows '入試区分' (Examination Category) as AU入試. A red oval highlights the '詳細を確認' (Check Details) button at the bottom of the sidebar.



The screenshot shows the '出願内容の照会' (Application Content Confirmation) page. It contains a message: '出願内容をご確認ください。入学願書等は、画面下からダウンロードできます。' (Please confirm the application content. Application forms, etc., can be downloaded from the bottom of the screen.) Below this is a button labeled '活動記録を照会' (Check Activity Record). At the bottom, there are three buttons: '入学願書PDFダウンロード' (Download Application Form PDF), '入学願書送付先PDFダウンロード' (Download Application Form Delivery PDF), and '戻る' (Back). The first two buttons are circled in red.

画面下へ（画面一番下にダウンロードボタンがあります）

STEP 7 出願書類の郵送

STEP1～6 が全て完了し、郵送書類が全て揃ったら、「入学願書送付先PDF」の **チェック欄** で出願書類等を確認して、封入してください。

簡易書留速達で郵送できる料金分の切手を貼って、送付してください。



STEP 8 デジタル受験票の印刷（ダウンロード開始日以降）

学生募集要項記載の受験票ダウンロード開始日以降に、出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。

【 デジタル受験票の入手方法 】 出願サイトに再度ログイン

ログイン

出願する入学の募集要項にて出願受付期間（※出願内容の事前入力期間を含む）をご確認ください。

登録済の場合はこちら 出願国立5大学出願サイトのユーザーIDが使えます。

ユーザーID
ユーザーID（メールアドレス）
パスワード
パスワードを表示
パスワードを忘れた場合はこちら

※ユーザーIDは登録したメールアドレスです。
メールアドレスはログイン時のIDとして使用するだけでなく、インターネット出願を利用した際に重要なお知らせが配信されます。

新規の場合はこちら
初めて利用する場合は新規登録ボタンをクリックして登録をしてください。

ログイン

新規登録

出願サイトにログインする

「詳細を確認」ボタンをクリックする

出願登録番号：10000197165

申込情報

学校 徳島大学

出願登録 2018年10月26日 13時0分

決済 -

受付完了 -

出願内容

入試区分 AU入試

詳細を確認

Web入学要項・印刷・ダウンロードについてはこちら（詳細な検索）ボタンをクリック後の画面です。

出願内容の照会

出願内容をご確認ください。
入学願書等は、画面下からダウンロードできます。

※決済状況はお支払い完了から数時間後に反映されます。ご了承ください。

下記ボタンから照会画面へ遷移すると、活動記録の編集が行えます。
但し、「出願最終期限を過ぎている場合」または「決済済の場合」は活動記録の照会のみが行えます。

活動記録を照会

画面下へ（画面一番下にダウンロードボタンがあります）

入学願書ダウンロード

入学願書送付先 PDFダウンロード

デジタル受験票ダウンロード

戻る

印刷したデジタル受験票を、試験当日必ずご持参ください

※A4 用紙に印刷してください

～ 検定料支払い方法 ～

検定料：17,000円（理工学部夜間主：10,000円）

クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー（ペイジーが利用可能な金融機関 ATM 及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります。（支払方法／取扱い金融機関は、下表にあるものに限りです。）それぞれ手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。

なお、支払済の検定料は原則返還しません。ただし、事情によっては返還できる場合がありますので、「[本学ホームページ](#)→[受験生サイト](#)→[入試案内](#)→[検定料の返還](#)」をご覧ください。

支払方法/取扱い金融機関	手続等	支払期限	
クレジットカード			
<ul style="list-style-type: none"> ・ Visa ・ MasterCard ・ JCB ・ AmericanExpress ・ Diners 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者本人の名義でなくても可。 ・ 支払方法は一括払のみ。 	<p>令和6年11月11日（月） 15時00分</p> <p><u>※上記支払期限にかかわらず学校推薦型選抜Ⅰの出願書類（郵送書類）は、11月11日（月）17時必着です。</u></p> <p>入学願書等は、支払いが完了しないと入手できません。郵送期間を考慮の上、ご準備ください。</p>	
コンビニエンスストア			
※決済データの反映に数時間かかることがあります。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ セブンイレブン ・ ローソン ・ ミニストップ ・ セイコーマート ・ ファミリーマート ・ デイリーヤマザキ ・ ヤマザキデイリーストア 	<p>コンビニを選択後、出願サイトの「お支払い内容」の画面を印刷いただき、各コンビニにてお支払い。</p>		
ペイジー（Pay-easy）			
※決済データの反映に数時間かかることがあります。			
※ペイジー対象金融機関 http://www.pay-easy.jp/where/index.html			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関 ATM ・ インターネットバンキング（インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」はお支払いの際、必要な番号ですので、画面を印刷いただくかメモをお取りください。 ・ 志願者本人の名義でなくても可。 		

- ・ 検定料の他に別途、振込手数料（550円）が必要です。
- ・ ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。
- ・ 検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

こんなときには？（不具合時の対応について）

Q 氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。

A. 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS 第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。それでも入力が難しい場合は、カタカナで入力してください。
《例》高木→高木 山崎→山崎 （ローマ数字）Ⅲ→3

Q ダウンロードした出願書類の PDF ファイルを表示できません。

A. PDFを表示するには、Adobe Acrobat Reader(無償)が必要です。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

Q 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？

A. 出願登録後は出願内容の変更はできません。既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。なお、入学願書に記載事項の誤りがあった場合は、願書にわかりやすく赤字で修正してください。（志願する大学・学部・学科の変更はできません。）訂正印は不要です。

Q 出願書類等を郵送後、申込情報「受付完了」の日時が表示されません。

A. 出願が受理され受験番号が付番された時点で、「受付完了」となり、当該欄に完了日時が表示されます。受付完了までしばらくお時間をいただくことがあります。
なお、郵便状況の確認は、簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡（検索）してください。

その他のQ&Aは「四国国立5大学インターネット出願に関するQ&A」を参照ください。

（このマニュアルと同じところにリンクを掲載しています）

インターネット出願専用コールセンター

◆出願操作サポート窓口（運営会社：京都電子計算株式会社）
（インターネット出願の操作方法についてのお問い合わせ）

電話番号：075-341-8620

受付期間：令和6年10月22日（火）～11月11日（月）（平日のみ）

受付時間：午前9時～午後5時

◆徳島大学学務部入試課（上記以外のお問い合わせ）

電話番号：088-656-7091

受付期間：平日のみ

受付時間：午前9時～午後5時

8 本学受験票の印刷

本学で出願を受理した志願者については、以下の日程でインターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。自分でA4用紙に印刷し、試験当日に持参してください。

受験票ダウンロード開始日
令和6年11月14日(木)

9 合格者の発表

合格者の受験番号を以下のとおり発表します。また、合格者には同日付けで合格通知書を送付します。電話等による可否の問い合わせには、応じられません。

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書を公式のものとしします。

発表日時	発表方法
令和6年12月20日(金)14時	本学ホームページに1週間程度掲載

10 不正行為

次のことを行くと不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じますので、それ以後の受験はできません。

また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

なお、不正行為の内容によっては、更に厳正に対処する場合があります。

- ① 入学願書、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること（出願情報登録時に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）。
- ② カンニングをすること（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること）。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたりすること。
- ⑤ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑥ 大学が指定する場合を除き、試験時間中に定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
- ⑦ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子等を閉じてください」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けたりすること。
- ⑧ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

11 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続書類を送付します。以下の期間内に、Web入学手続システムにより手続を行ってください。持参による手続はできません。

郵送が必要な書類（**入学手続システム入力期間最終日必着**）がありますので、詳しい手続方法については、入学手続書類を必ず確認してください。

(1) 入学手続システム入力期間

令和7年2月13日（木）～2月19日（水）

(2) 入学手続に際しての注意事項

- ① 本学の入学手続を完了した者が、これを取り消して他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。また、他の国公立大学の入学手続を完了した者が、これを取り消して本学の入学手続を行うことはできません。
- ② 既納の入学料は、返還しません。
- ③ 期間内に入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。
- ④ 入学手続完了後に高等学校を卒業できないことが判明した者については、入学許可を取り消します。
- ⑤ 入学料及び授業料には、減免と給付型奨学金制度があります。
- ⑥ 授業料の納付は、原則として口座振替により行います。
- ⑦ 入学料、授業料以外に、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費等の納付が必要です。金額は学部により異なります。
- ⑧ 入学手続後、特別な事情により入学を辞退する必要がある場合は、令和7年3月28日（金）15時までに合格した学部へ連絡の上、入学辞退許可願（本学所定の様式）を令和7年3月31日（月）までに提出してください。

入学料、授業料等

区 分	入学料	授業料(年額)	授業料(半期)	その他の納付金
学部(夜間主コースを除く)	282,000円	535,800円	267,900円	学部によって異なる
学部(夜間主コース)	141,000円	267,900円	133,950円	

注) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定した場合は改定金額が適用されます。

12 入学前学習

入学試験に合格し入学手続を完了した皆さんを対象に、入学前学習を実施する学部・学科があります。

入学前学習に関する案内は、合格通知を送付する際に同封する予定です。入学後の学習に直結していますので、必ず学習しておいてください。

13 入学試験の成績の開示

受験者本人からの開示請求に基づき、本人の入学試験の個人成績を郵送により開示します。

(1) 開示請求受付期間

令和7年5月1日（木）～令和7年5月30日（金）（土日・祝日を除く。）
郵送、持参とも期間中に請求してください。（※郵送の場合は消印有効）

(2) 開示対象

- ・一般選抜（前期日程・後期日程）
- ・総合型選抜（第1次選考不合格者を除く。）
- ・学校推薦型選抜Ⅰ（生物資源産業学部のみ）
- ・学校推薦型選抜Ⅱ

(3) 開示内容

本学の実施する個別学力検査等及び大学入学共通テストの個人成績

- ・総得点
- ・個別学力検査等の総得点及び科目毎の得点（点数化していない面接は評価記号）
- ・大学入学共通テストの総得点及び科目毎の得点（合否判定に使用した得点）

(4) 請求方法

以下の書類をすべて同封し、当該学部に申し込んでください。

開示内容は、令和7年6月2日（月）以降に、請求者に対し文書で通知します。

① 入学試験情報開示請求書

本学ホームページからダウンロードできます。

② 本学又は大学入試センター発行の受験票

③ 返信用封筒

本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手（簡易書留料金分）を貼付した長形3号（235 mm × 120 mm）

※開示に要する手数料は無料ですが、郵便料金は申請者の負担とします。返信用封筒に定形外封筒を使用する等で郵便料金の不足が生じた場合は、送付できないことがありますので注意してください。

14 試験問題及び出題意図、解答例等の公表

- (1) 試験問題及び出題意図は、当該試験終了後の適当な時期に本学ホームページで公表します。ただし、著作権処理の必要なものは除きます。
- (2) 解答例は、令和7年6月2日（月）以降に公表します。ただし、国語、小論文及び志望調書については、出題意図のみ公表します。
- (3) 一般選抜合格者の最高点・最低点・平均点は、令和7年5月中に公表します。

15 奨学金、入学料・授業料免除、学生寮等

奨学金、入学料・授業料免除、学生寮等については、合格者に送付する入学手続書類又は本学ホームページを確認してください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/campus/>

教育・学生生活のページの

○福利厚生

○授業料免除・奨学金

をご参照ください。

16 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定め、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や教育が受けられない場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

詳細については、研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/>

位置図



常三島キャンパス

総合科学部
理工学部、生物資源産業学部

徳島市南常三島町1丁目1番地
徳島市南常三島町2丁目1番地

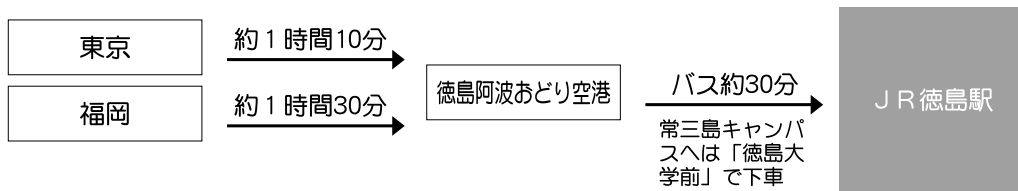
蔵本キャンパス

医学部、歯学部
薬学部

徳島市蔵本町3丁目18番地の15
徳島市庄町1丁目78番地の1

交通アクセス

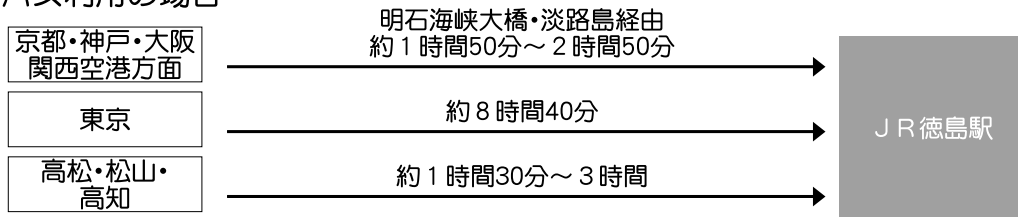
■航空機利用の場合



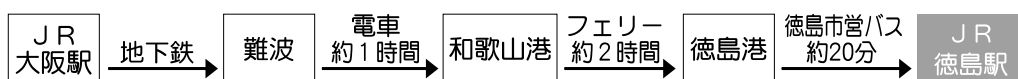
■鉄道利用の場合



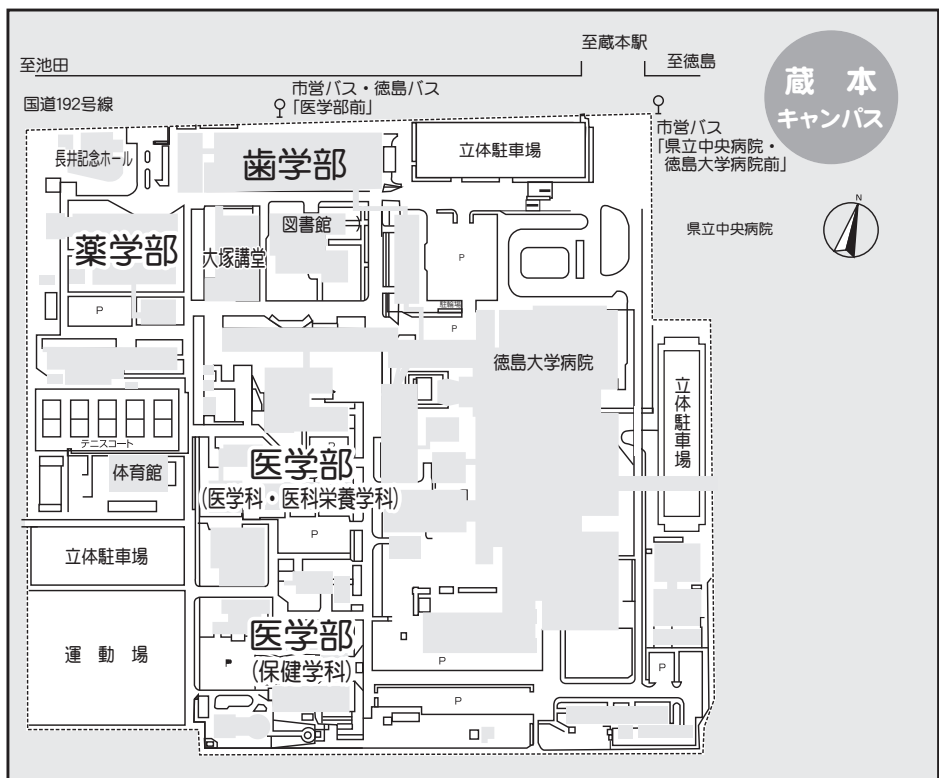
■バス利用の場合



■フェリーボート利用の場合



キャンパスマップ



徳島駅から各キャンパスへのアクセス

常三島キャンパス
 徳島市営バス
 「助任橋・徳島大学前」 下車
 「徳島大学前」 徒歩 5分
 総合科学部
 理工学部
 生物資源産業学部

蔵本キャンパス
 徳島市営バス
 「県立中央病院・徳島大学病院前」 下車
 「医学部前」 徒歩 2分
 医学部
 歯学部
 薬学部

徳島大学
受験生サイト

■ 大学案内・選抜要項等の請求方法

■ オープンキャンパス案内

■ 試験実施状況

■ その他、各種入試情報を時期に応じてお知らせしています。

ホームページ <https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>

問い合わせ先

〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地

徳島大学入試課

受付時間：
月～金曜(祝日を除く)
8:30～17:00Tel 088-656-7091 E-mail nyuinfo@tokushima-u.ac.jp

■ 学部・学科等に関する事項

教養教育(学務部教育支援課) Tel 088-656-7308

総合科学部 Tel 088-656-7108

医学部

医学科・医科栄養学科 Tel 088-633-7028・7029

保健学科 Tel 088-633-9009

歯学部 Tel 088-633-7310

薬学部 Tel 088-633-7247

理工学部 Tel 088-656-7315・7317

生物資源産業学部 Tel 088-656-8021